

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5年 6 月 15日

青森県知事 殿

提出者
住 所 青森県上北郡東北町字塔ノ沢山1番地
氏 名 東北建設株式会社 代表取締役 蛭沢 公洋
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0175-63-2034

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	東北建設株式会社
事 業 場 の 所 在 地	青森県上北郡東北町字塔ノ沢山1番地
事 業 の 種 類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	2865.72t	全 処 理 委 託 量	2865.72t
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	3t
自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2862.72t
自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

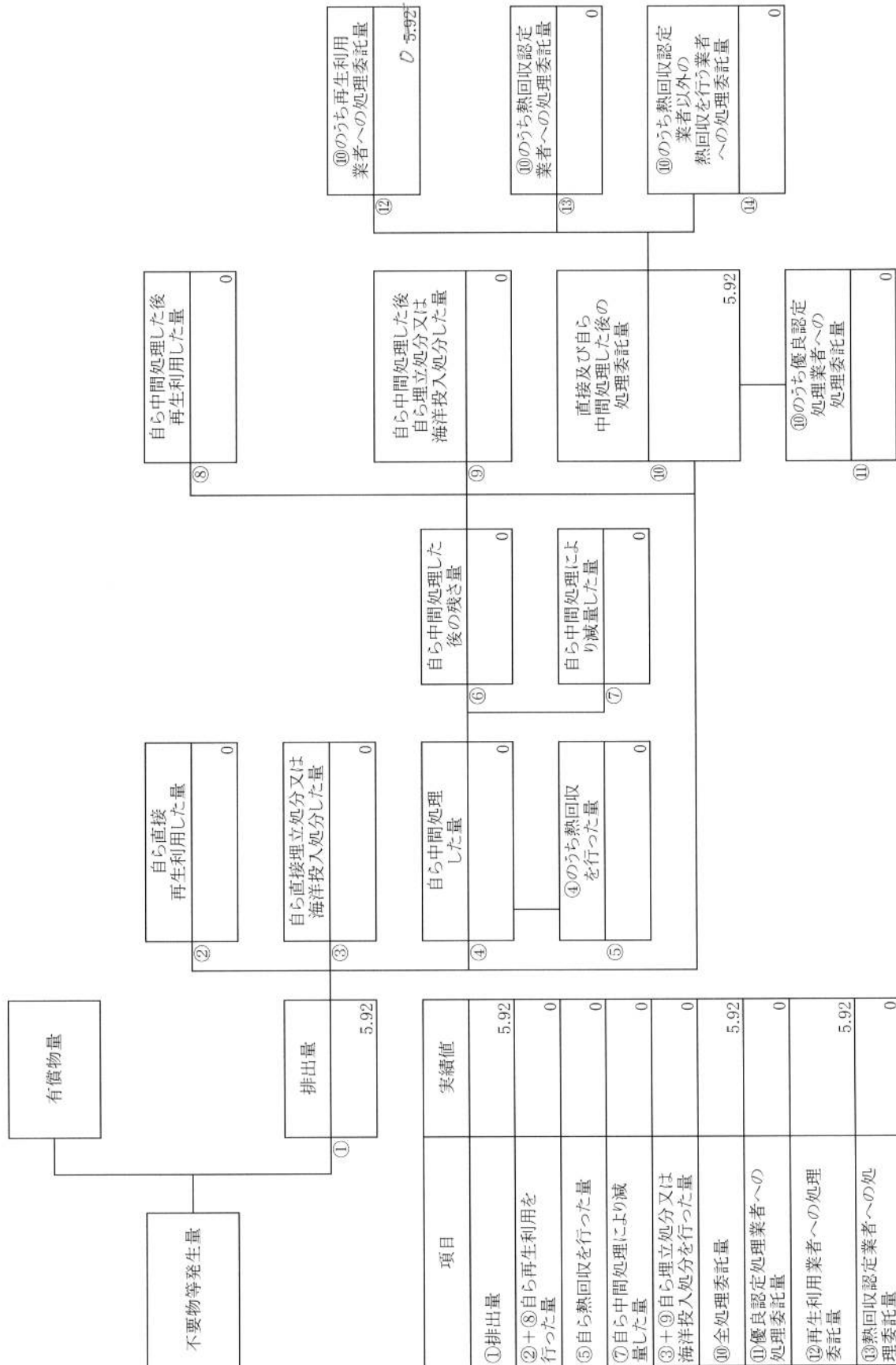


産業、外務、物理、化学、生物、地質、地理、計画、映画、実業、施設、状況、週報、告書、の「第2面」に入力支援する。

名 称		計 画 の 実 施 状 況												
		①排出量	②自ら直接再生利用した量 (d)	③自己直接埋立部分又は海洋投棄(人船分)した量(e)	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量(c)	⑥自ら中間処理により減量した量(a)	⑦自ら中間処理した後、再投入処分した量(b)	⑧自ら中間処理し、自立的処分又は第三者に売却した量(f)	⑨自ら中間処理し、自立的処分及び第三者に売却した量(g)	⑩優良認定事業者への処理委託量(h)	⑪再生利用業者への処理委託量(i)	⑫熱回収認定事業者への処理委託量(j)	⑬熱回収認定事業者以外の熱回収業者への処理委託量(k)
産業廃棄物の種類 出た産業廃棄物の増減ごとの量		①の量のうち、焼却灰等を伴う直接自ら再生利用した量	②の量のうち、中継処理をせず自ら埋立処分又は海洋投棄入処分した量	③の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当量中間処理場の当該中間処理場に回送を行った量	④の量のうち、自ら中間処理を行った後の量	⑤の量から、⑥の量を差し引いた量	⑦の量のうち、自ら中間処理し、自立的処分又は第三者に売却した量	⑧の量のうち、自ら中間処理し、自立的処分及び第三者に売却した量	⑨の量のうち、優良認定事業者への委託処理量	⑩の量のうち、処理業者への再生利用委託量(注、注(附))	⑪の量のうち、認定熱回収施設設置者である認定事業者への燃料処理委託量	⑫の量のうち、認定熱回収施設設置者である認定事業者への燃料処理委託量	⑬の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の認定事業者への処理委託量	
燃え殻														
汚泥		5.92	0	0	0	0	0	0	5.92	0	5.92	0	0	
上水汚泥														
下水汚泥														
建設汚泥		5.92							5.92		5.92			
その他の汚泥														
浸油														
炭酸														
焼アルカリ														
プラスチック類		24.495							24.495		24.495			
ゴムくず														
金属くず		17.46							17.46		17.46			
ガラス陶磁器等くず		11.925							11.925		11.925			
鉱さい														
がれき類		2292.28	0	0	0	0	0	0	2292.28	0	2292.28	0	0	
コンクリート片		595.27							595.27		595.27			
煉瓦スファルトレンガ破片など		1697.01							1697.01		1697.01			
石綿含有産業廃棄物		7							7	7				
ばいじん														
紙くず														
木くず		117.73							117.73		117.73			
繊維くず														
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
動物のふん尿														
動物の死体														
政令(3号物(上記産業廃棄物の処理物であつてこれらに該当しないもの))														
建設混合廃棄物														
合計		2476.81	0	0	0	0	0	0	2476.81	7	2469.81	0	0	

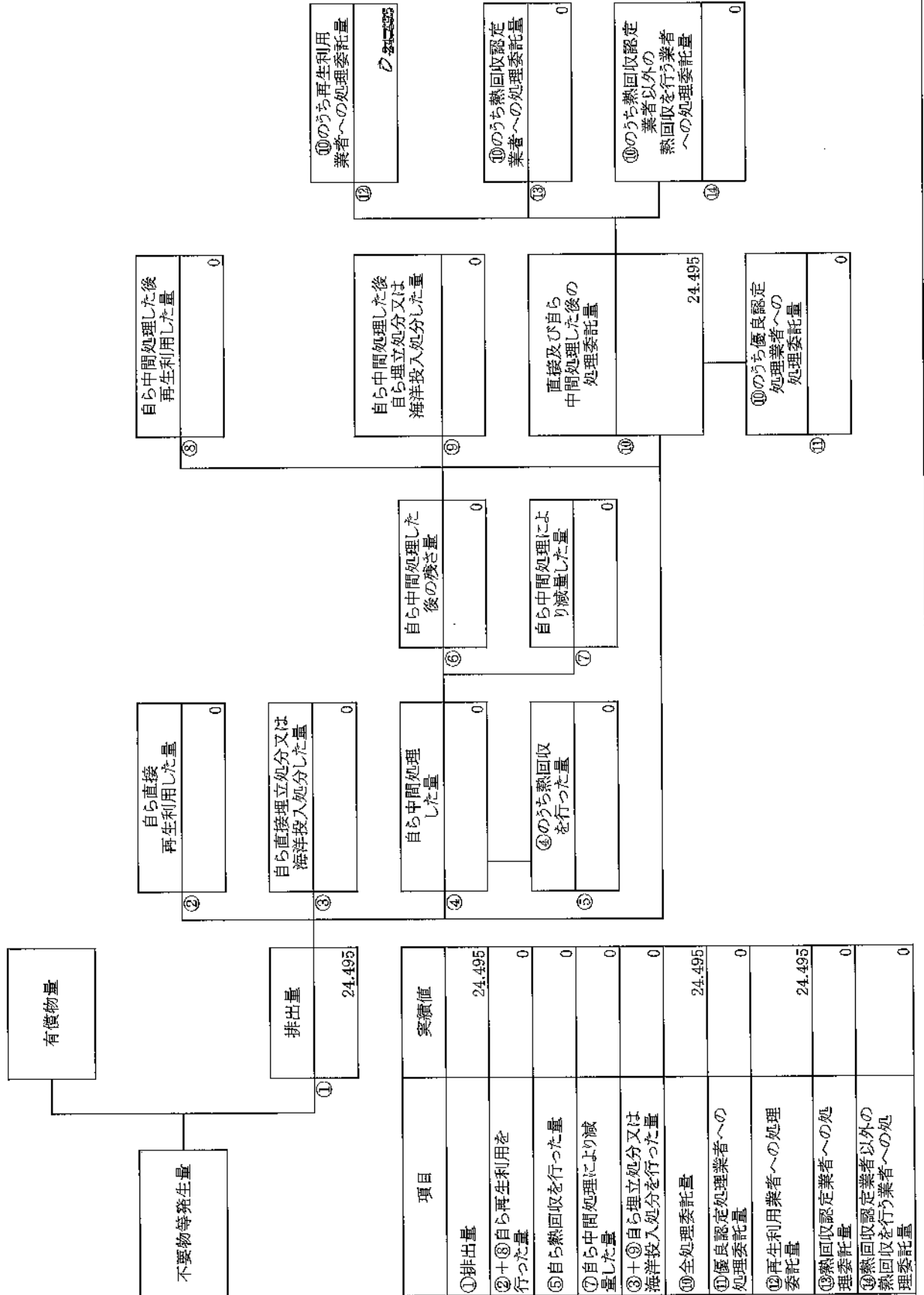
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設汚泥)



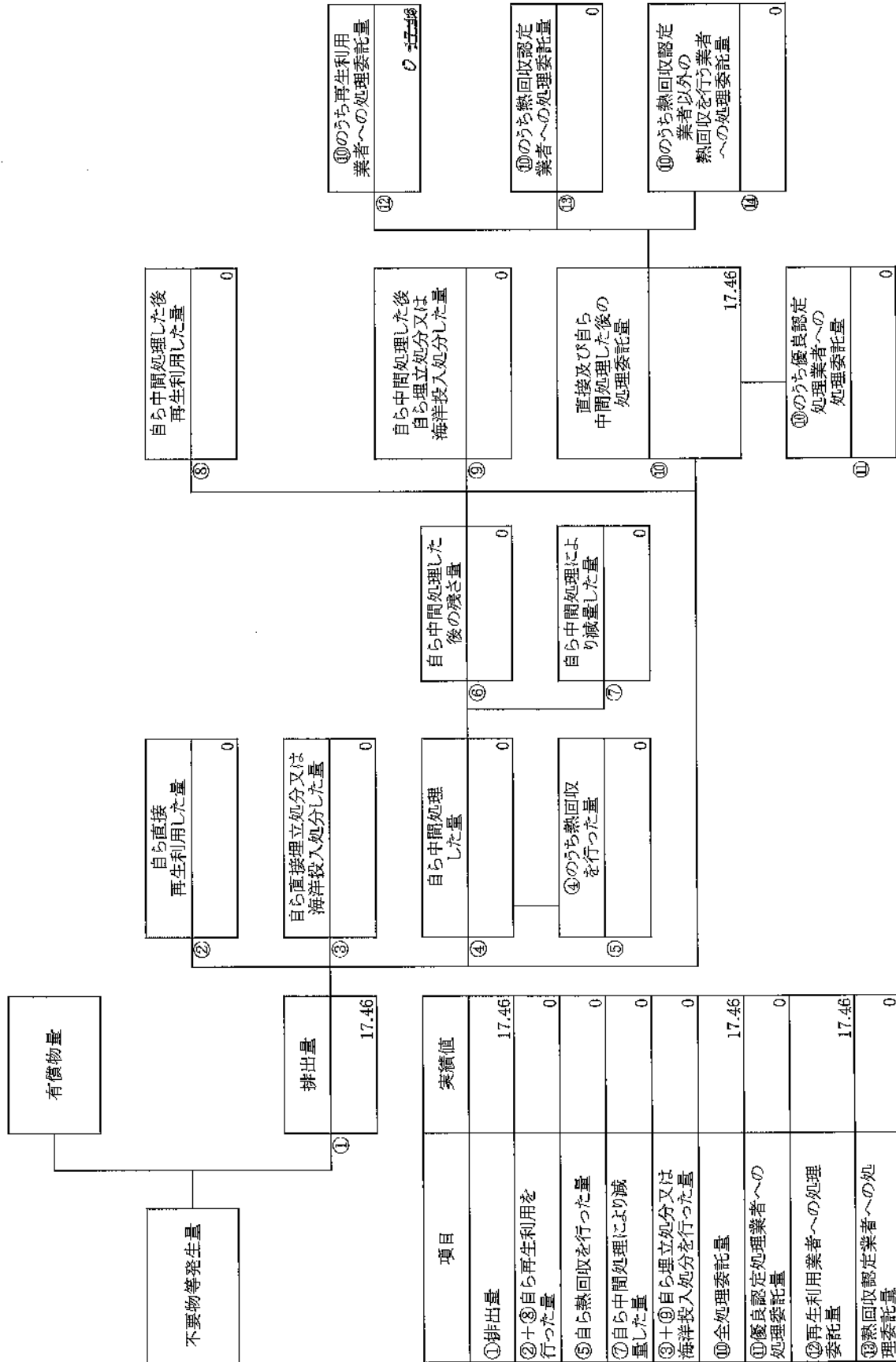
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



計画の実施状況

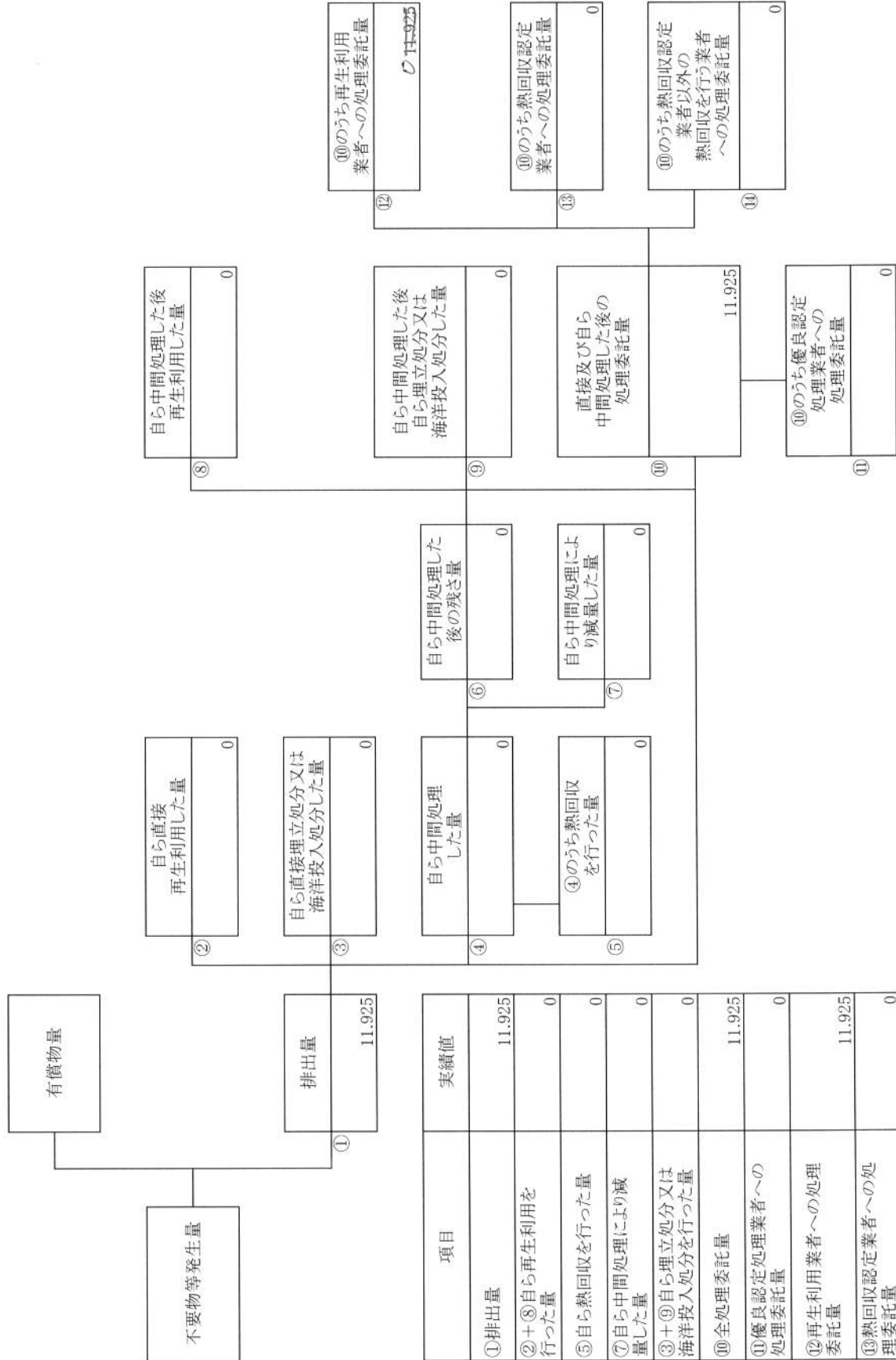
(産業廃棄物の種類: 金属くず)



項目	実績値
①排出量	17.46
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	17.46
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	17.46
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

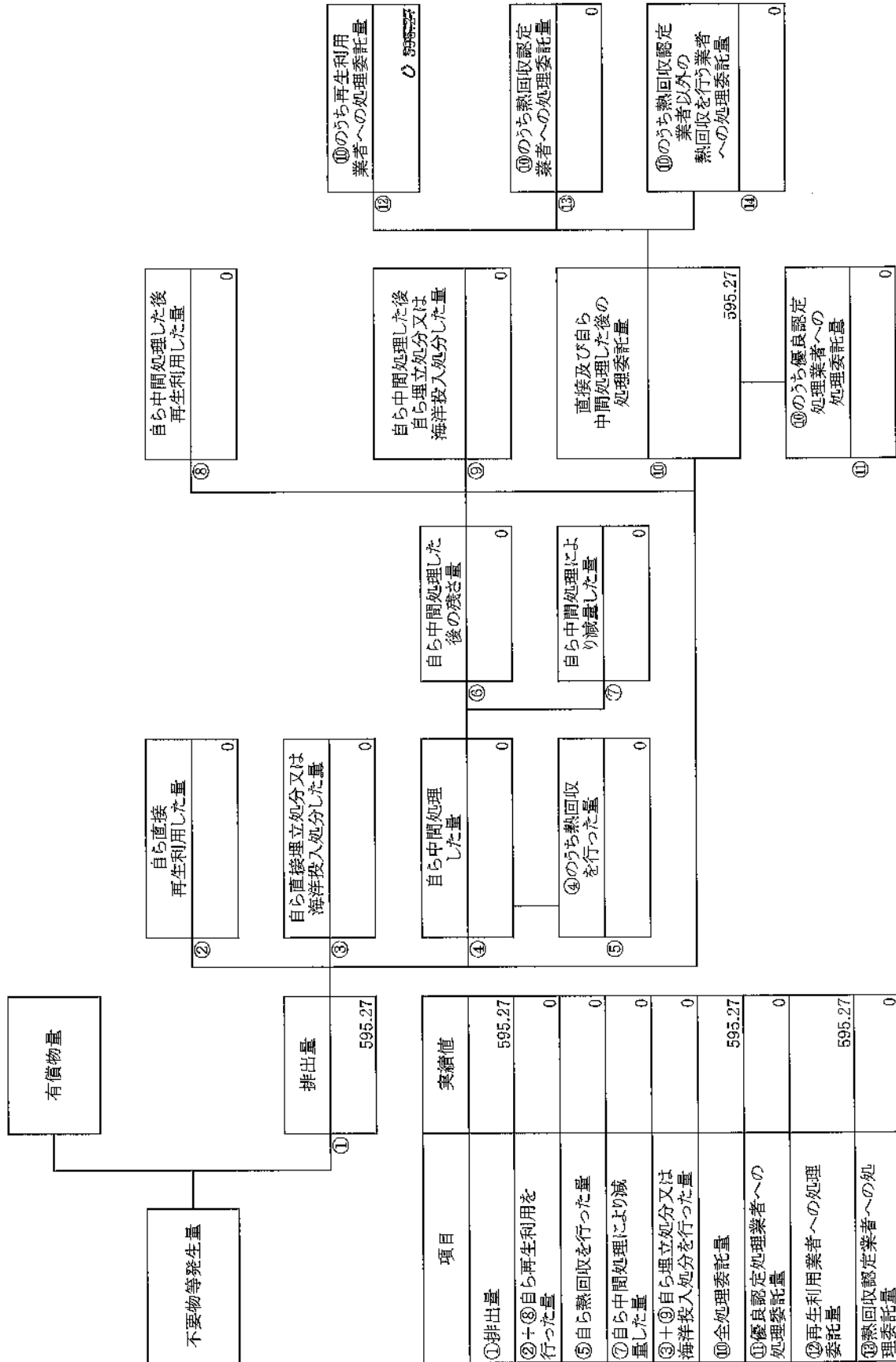
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器等くず)



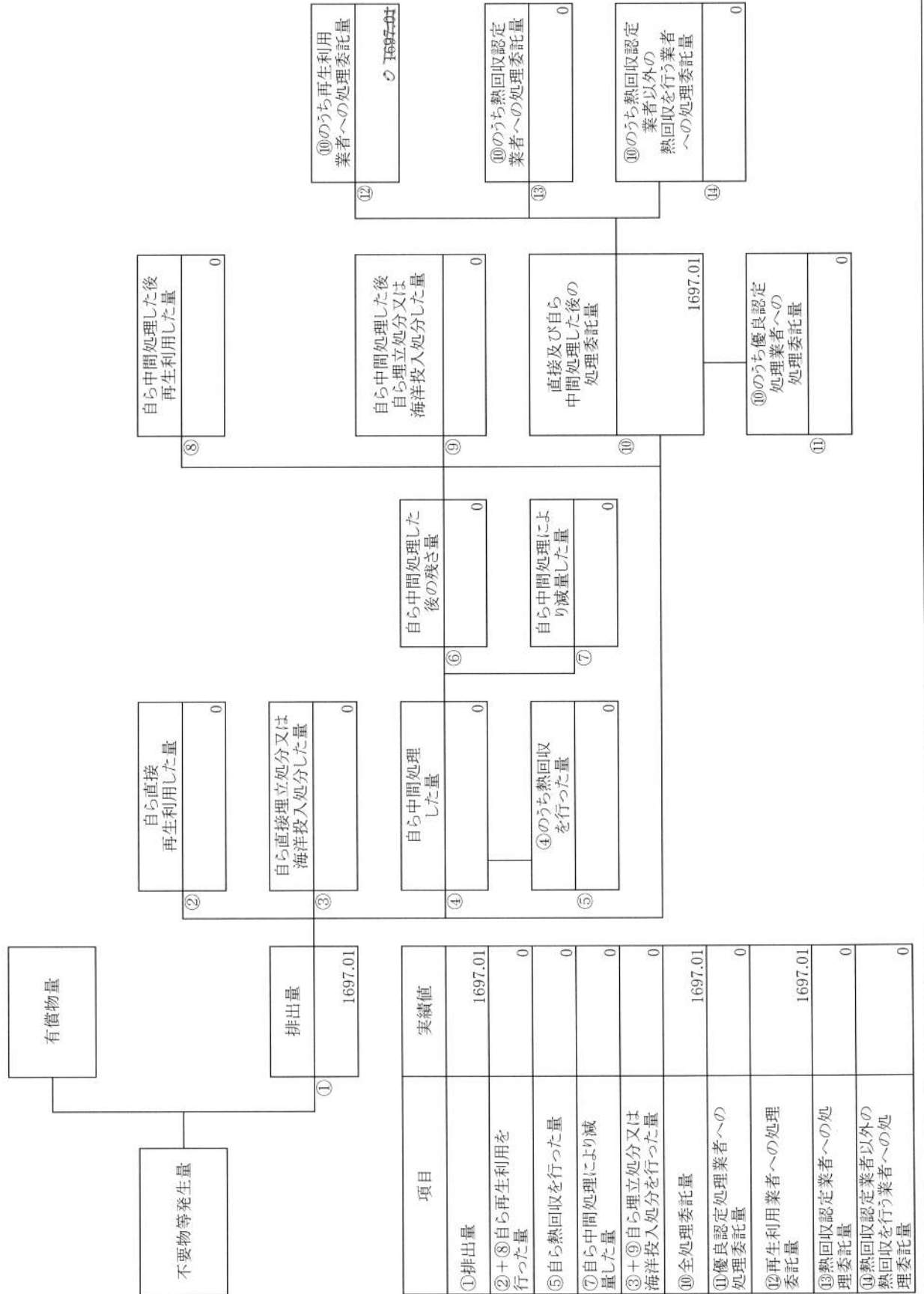
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：コンクリート片)



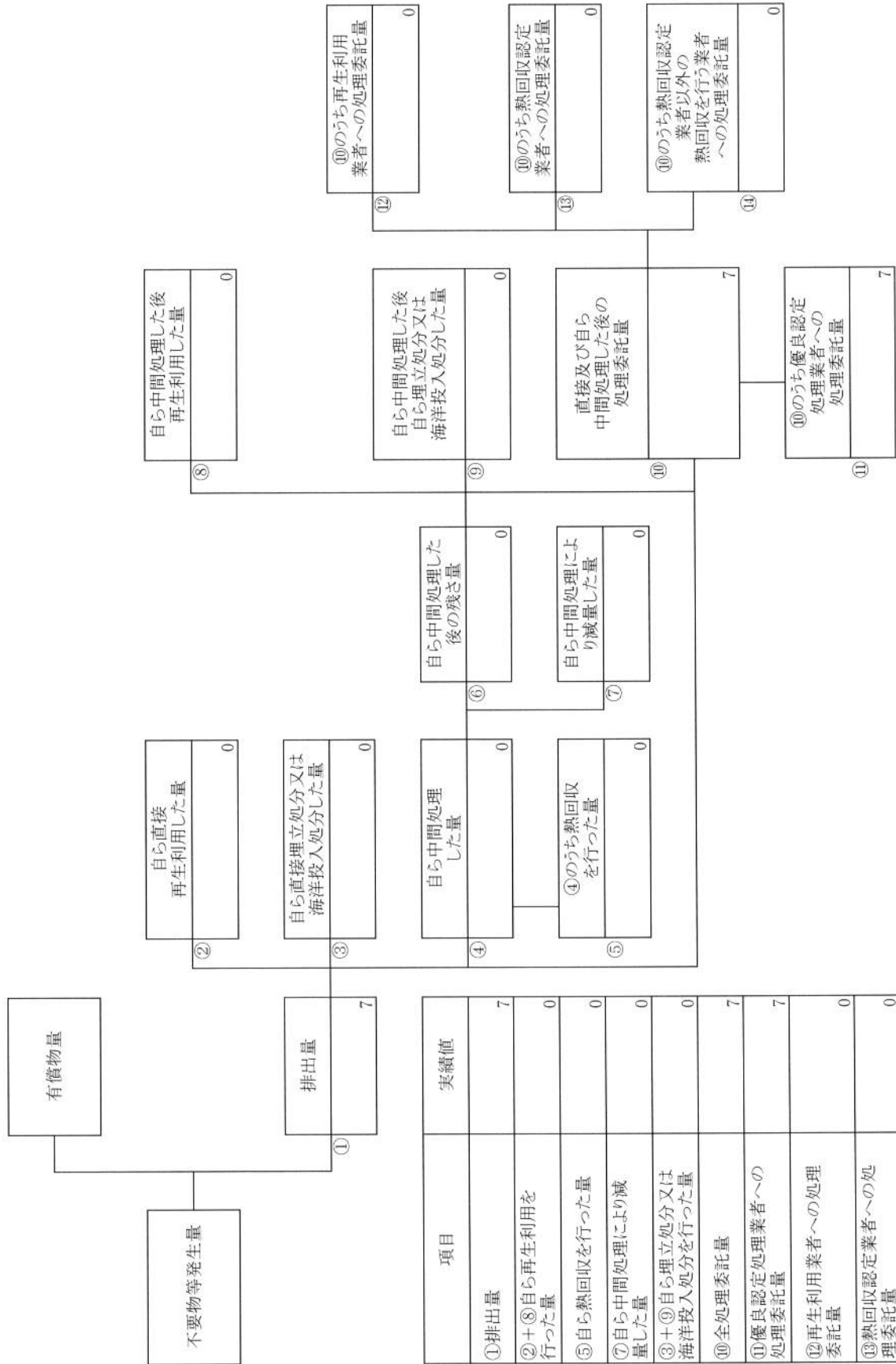
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃アスファルト)



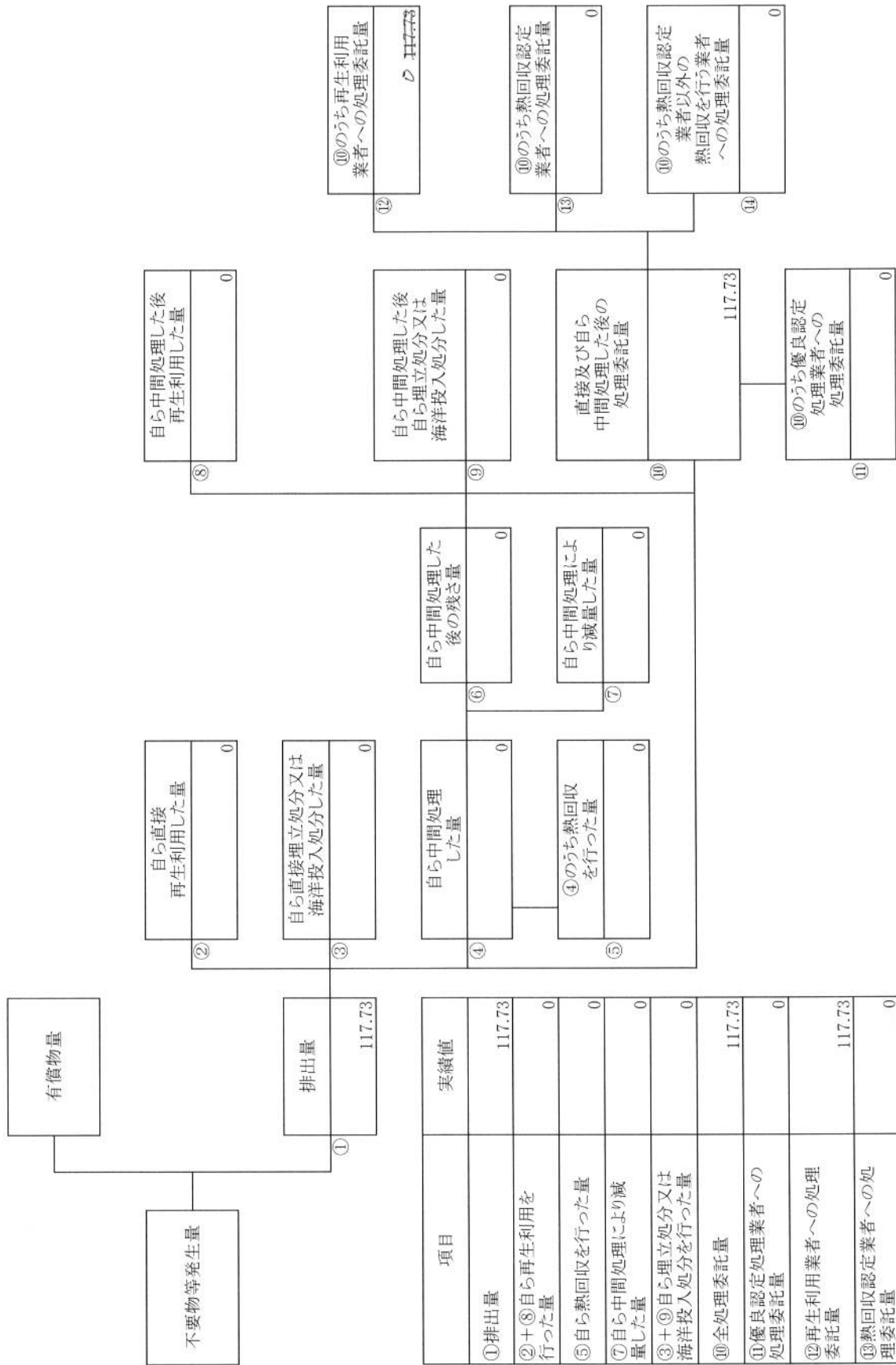
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。